

スポーツの力



ひたむきに競技にむかう選手たちの姿には、感動、興奮、涙があります。それが、画面越しであっても。小説であっても。本は、言葉をくれます。知らない気持ちを教えてくれます。知らない世界を教えてくれます。



 <p>「オリンピック競技面白大全」 雑学総研／著 白熱の戦いが展開される33のオリンピック競技と22のパラリンピック競技のキホンと雑学ウンチクを網羅した本書。 やさしい解説とイラスト図解で、五輪競技が丸わかりの一冊!</p>	 <p>『わかる! 応援できる! パラスポーツ事典』 高橋明／監修 東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、わが国のスポーツ振興を取り巻く環境は大きく変わろうとしている。 特に、障がい者のスポーツ(パラスポーツ)を取り巻く環境は、大きく変化している。</p>	 <p>『スポーツ感動物語』(シリーズ) 学研プラス／編集 アスリートたちの活躍の背景には、学生時代や下積み時代の忘れられない原点がある。 アスリートたちの感動エピソードを通して、子どもたちに夢と勇気を与える、ノンフィクションシリーズ。</p>
 <p>『DIVE!!』 森 絵都／著 高さ10メートルから時速60キロで飛び込み、技の正確さと美しさを競うダイビング。 赤字経営のクラブ存続の条件はなんとオリンピック出場だった。オリンピック出場をかけて、少年たちの熱く長い闘いがはじまる!</p>	 <p>『転んでも、大丈夫』 臼井 美男／著 足を失い、心に傷を負った人々を、心身ともに支え続けている臼井二美男。 患者のどんな願いにも真摯に向きあい、前向きに挑戦するよるこびを伝えつづけてきた著者が、人のいのち・生活を支える仕事のやりがいを語る。</p>	 <p>『空は逃げない』 まはら三桃／著 佐藤倫太郎と佐藤林太郎。ふたりは同じ大学陸上部の棒高跳びの選手。かたや平凡な記録保持者、かたや全国レベルの花形選手のふたりの前に、練習風景を熱心にスケッチしていた芸術学部の女子・石井絵怜奈が、突然、自分も棒高跳びの選手になりたいと志願した。</p>
 <p>『ぼくたちのアリウープ』 五十嵐 貴久／著 憧れのバスケット部に入部届を出したジュンペー。ところが、3年生が不祥事を起こして1年間対外試合禁止。とぼちちり食った2年生はほかの学年は信用できないと、1年生の練習参加を拒否する。 諦め切れないジュンペーは、「勝てば練習参加、負ければ退部」を賭けて、2年生に試合を申し込む。</p>	 <p>『車いすバスケットで夢を駆ける』 京谷和幸／著 発足したてのJリーグで活躍した京谷和幸。 しかし交通事故で脊髄を損傷した彼は、リハビリで出会った車いすバスケットでパラリンピックを目指す。 Jリーガーから一転車いす生活へ、そして再び夢をつかむまでの半生を追う。</p>	 <p>『アスリートの夢』 日本ドリームプロジェクト／編 誰一人、諦めていない。自分の夢を。 詩人きむがアスリートに贈った「詩」、アスリートが自分自身の手で書いた「夢」、そしてきむの「出逢い日記」を収録。 明日の希望になる力強いメッセージ満載。</p>
 <p>『晩夏のプレイボール』 あさのあつこ／著 野球を続けたい現状に抗い、「夏の甲子園」を目指して野球に打ち込む者たち。 高3の夏、肩を壊した元エース・真郷と、過去にトラウマをもつ現エース・律は、心ひとつにして甲子園を目指していた…(「練習球」)。他、「夏の甲子園」をめぐるドラマを描いた、10の傑作短編。</p>	 <p>『パラ・スター Side 宝良』 阿部暁子／著 不調が続く、車いすテニス選手の宝良は、親友の百花が働くメーカーの競技用車いすを採用。 百花や小学生みちるとの交流を経て、競技への思いを強くする。そして、世界の強豪選手が揃うアジア最高峰の大会の幕が上がる。</p>	 <p>『綾瀬はるか meets Beautiful Athletes』 パナソニック株式会社／編 オリンピック・パラリンピックを目指すアスリートのつねに上を目指してストイックに挑戦する姿。スポーツに対する真剣なまなざし、本当に素敵でカッコいいアスリートの姿と、心に響く言葉を綾瀬はるかさんが届けます。</p>
 <p>『一瞬の風になれ』 佐藤多佳子／著 新二の周りには、2人の天才がいる。サッカー選手の兄・健一と、短距離走者の親友・連だ。新二は兄への複雑な想いからサッカーを諦めるが、連の美しい走りに導かれ、スプリンターの道を歩むことになる。夢は、ひとつ。どこまでも速くなること。</p>	 <p>『サッカーボーイズ 卒業』 はらだみずき／著 中学最後の大会となる夏の総体が1ヶ月後に迫っていた一桜ヶ丘中サッカー部。3年間をともに過ごした仲間たちとの、最後の夏がはじまる。 真っすぐでがむしゃらな少年たちを描いたサッカー青春小説、堂々の完結。</p>	 <p>『オン・ザ・ライン』 朽木 祥／著 体育会系だが活字中毒の少年・侃は、仲よくなった友だちに誘われてテニス部に入るようになった。 テニス三昧の明るく脳天気な高校生活が、いつまでも続くように思えたが…。少年たちのあつい友情、そして明日への希望の物語。</p>